

頁	誤	正
P2, 11行目	平成25年(2013年)末	平成26年(2014年)末
P23, 9行目	即位	測位
P33, 3行目の後ろ		「ここでは、スタート地点Sからゴール地点G(≠S)へのルートは必ず存在するものとする。」を追加
P33, 9, 10行目	「一時ラベルの付いたノードがない場合には、ノードSからゴールGに向うルートがないので終了。一時ラベルの付いたノードがあり、かつノードPに隣接するノードがある場合」	「ノードPに隣接する一時ラベルの付いたノードがある場合」に修正
P33, 図2.12(b)	$d(1)=\infty$ $r(1)=4$ 	$d(1)=0$ $r(1)=1$
P111, 図6.2	(a) クランク矢印なし (b) クランク矢印なし (c) シリンダ矢印, 上 クランク矢印, 下 (d) クランク矢印, 上	(a) クランク矢印, 上追加 (b) クランク矢印, 下追加 (c) シリンダ矢印, 下 クランク矢印, 上 (d) クランク矢印, 下
P122, 下から9行目	「取り組みこととです」	「取り組みの <u>こと</u> とです」